

コミュニティ・スクールだより

令和5年11月22日

R5 第2号

田原市立田原中学校

令和5年度第2回学校運営協議会の開催

11月14日(火)、第2回学校運営協議会が開催されました。今回も各立場から活発な意見が出され、熟議が行われました。課題はあるものの、少しずつですが確実に地域と学校が協力して子どもたちを育てていこうという姿が見られるようになってきており、子どもたちもさまざまな場面でがんばっているということを共通理解することができました。協議会で出された主な意見をお伝えします。



主な意見

- まだ、学校運営協議会・ひとなる協働本部のことを知らない人がいるので、さらに周知していけば、活動が活発になると思う。
- ボランティア登録は増えてきたが、実際に活動してもらっている人は固定されてきているので、気軽に参加できるような仕組みを作っていきたい。
- 年末大掃除・お茶会などを企画し、PTA以外の地域の方にも、ひとなる応援隊の活動への参加を呼びかけたい
- 部活動は学校主体から、地域連携へという流れになっている。今の子どもたちが犠牲にならないように進めていきたい。
- 部活動の地域連携について、ひとなる協働本部・学校・田原市楽友協会・市教育委員会などと話し合う機会があった。「学校は部活動から手を引き、地域にすべて任せようとしている」など、それぞれの立場で認識の違いがあることがわかったので、話し合っていくことが重要。
- 「部活動など、学校でやらなくなったことを地域でやらなければならないのではないか」といった、誤解をしている人も多いので、正しく活動を伝えていくことが大切。
- 各団体の役員会や部会などでも、コミュニティ・スクールのことを説明し、さらに理解を広げることはできそう。
- 豊橋など、他地域の活動も参考にしていけるとよい。
- 地域コミュニティもコミュニティ・スクールについて学ぶ機会をもっている。保護者の中にはコミュニティ・スクールがまだわかっていない人もいるので、しっかりと伝えていく必要がある。
- 小学校もコミュニティ・スクールになると、地域・中学校・小学校の関係が難しくなりそうなので、連携していくことが大切になる。
- 楽しいと思える活動・場所を増やしていき、参加者を増やしていけるとよい。
- 街が元気にならないと、人も元気にならないので、街が活性化する活動を取り入れたい。
- 街中イルミネーションの点灯式など、中学生に協力をお願いしてきたが、中学生に企画からまかせてみてもよい。



○たはランティアが、ボランティア・スピリット・アワードでコミュニティ賞を取ることができた。ものおじしない、さらに自信をもって住みよい街づくりに関わる子どもたちにしていきたい。

○ひとなる応援隊の活動で、たはランティアへの協力や授業に補助に入ってもらうなどがさらにできてきた。

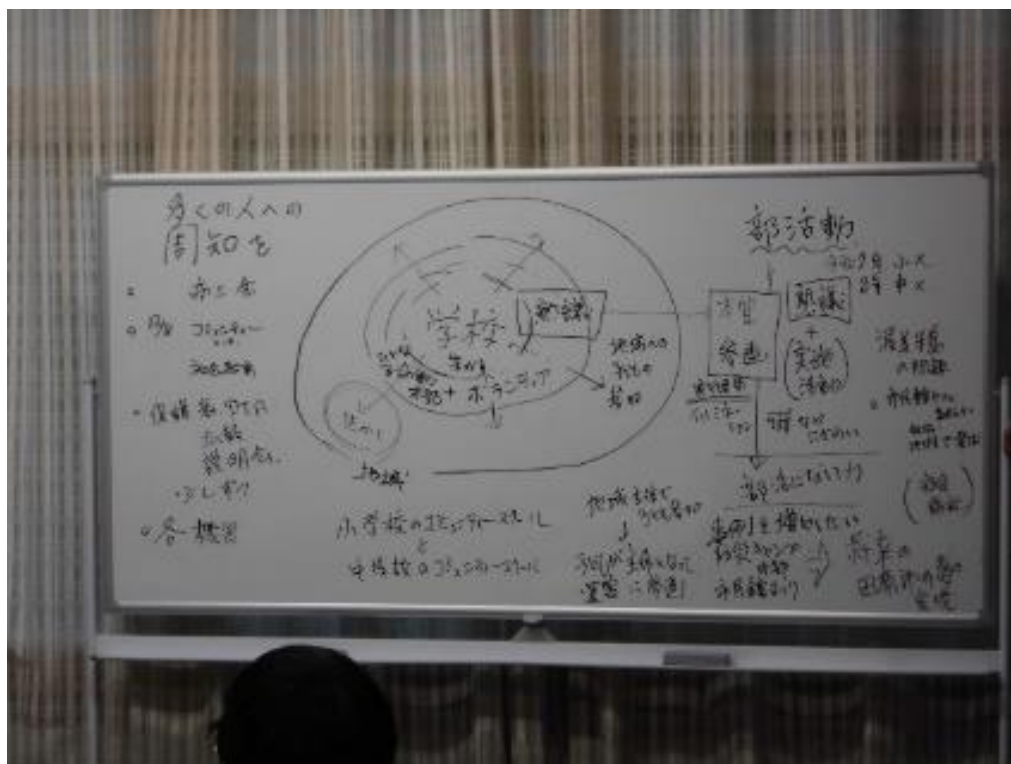
○企業フェアや授業支援など、ひろなる応援隊と教職員との交流が増えた。今まで教職員がやりたくても実現できなかったこともできるようになってきた。

○ひとなる熟議では、中学生だけでなく高校生まで参加していた。コミュニティ・スクールとして大きく変わってきていると感じる。頼もしく思える。

○ひとなる熟議で、たはランティア・生徒会・職員など気軽に話すことができた。文化祭でも模擬熟議を見てもらえた。12月にもひとなる熟議の機会があるのでつなげたい。

○地域連合会も自分たちで講演会を開くなど、地域も「コミュニティ・スクール」を学ぼうとしている。

○地域の夏祭りなど、自分たちから積極的に参加したいという中学生が出てきた。こういった動きからも活動を広げていきたい。



今後の予定…3月12日（火）第3回協議会

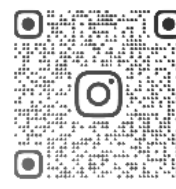
ご意見・ご要望などお寄せください 担当 田原中学校 主幹教諭 坂上直樹

Tel:0531-22-1218 Fax:0531-22-1219

E-mail:taha-jj@city.tahara.aichi.jp

※田原中学校ブログ・

ひとなる協働本部のインスタグラムもご覧ください



@HITONARUKYODOUHONBU